

## 第3回検討部会結果の整理

分類	主なご意見（順不同）
事業コンセプトについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環有明海の求心力を生むには、中途半端では駄目</li> <li>• これからの福岡のハブとなりうる場所である</li> <li>• 大野島の人が大野島内で暮らし、市内の人が大野島に行くようにする</li> <li>• 通り過ぎるだけでなく滞在出来るところを目指したい</li> <li>• あまり知られていないが、昇開橋のライトアップが綺麗で夜の夜景も楽しめる</li> <li>• 夜の時間帯もあわせて 1 日滞在できると有明海の干潮差も体感することができる</li> <li>• 木と触れあえる、大川・木工のまち</li> <li>• 道の駅おおうのように、道の駅単体で独立採算とできると良い</li> <li>• 7～8 年後、子どもや孫に市の財政を圧迫するような負の遺産を残したくない</li> <li>• 時代が変わるとニーズが変わってしまうので、なるべく早く大川の駅を整備したい</li> <li>• 大川テラツツアと同じようなことを掲げているのではないか</li> <li>• 何がここの売りなのかわかりにくい</li> </ul>
施設コンセプト「道の駅」について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環有明海で連携して強みを出していく</li> <li>• 農水産物の新しいものづくりを始めていくことも視野にいれるべき</li> <li>• テナントを入れてテナント料を取ることも考えられる</li> <li>• 広域の物産を集め、有明海の水産物など充実のラインナップで他には無い施設にするべき</li> </ul>
施設コンセプト「川の駅」について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 川の魅力を感じられ、感動につながるもの</li> <li>• シャワールームや洗い場があると大野島で連携しやすい</li> <li>• レンタサイクルができて、サイクリングコースと一体化した施設にしたい</li> <li>• 大野島グラウンドを活用できる施設にしたい</li> <li>• オートキャンプ、レジャー施設、温浴施設など若者のニーズがある</li> <li>• キャンピングカーを乗り付けられ、テントを張れるキャンプ施設がほしい</li> <li>• そのほか、グランピング、BBQ 施設など</li> <li>• 展望台がほしい</li> <li>• 水辺と連携出来る遊歩道</li> <li>• 川を渡って大川テラツツアに渡し船を出す</li> <li>• 大川の駅から久留米まで船で移動したい</li> <li>• 船着き場を作っておいて、イベント時に使いたい</li> <li>• しっかりした浮棧橋を作って欲しい</li> <li>• 有明海で SAP などのレクリエーション</li> </ul>
施設コンセプト「広域的地域振興拠点施設」について	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 家具についても新しいものづくりを始めていくべき</li> <li>• 大川の什器を実際に使って、実は買える！という施設</li> <li>• 展示だけにしてしまうのはもったいない</li> <li>• ここに寄ったらビジネスチャンスがある、というところにした</li> <li>• Wi-fi 完備で、仕事が出来て大川家具も使えるフリースペースがあるとビジネスにつながったりいろんな人が立ち寄るのでは</li> <li>• 九大や久留米大、九産大等の地域の大学生・高校生とタイアップ</li> <li>• 子どもたちの将来の仕事探しに繋がるようにしたい</li> <li>• ものづくり館や木工体験などができると良い</li> </ul>

<p>アミューズメント施設について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子連れで半日～1日遊ばせられるところが市内になく、子どもたちが遊べる場が必要</li> <li>昔は鹿島から大牟田まで船があったがこれからは有明海沿岸道路になるので、大川に寄ってもらえるチャンスを活かしたい</li> <li>大川らしさを感じる木で作る遊具など</li> <li>遊園地みたいに入場料制で1回きりの滞在でなく、フリーのアスレチックで週末などリピーターを獲得したい</li> <li>子連れが1日遊べ、なるべく滞在時間を長く楽しめ、付随する消費を生み出したい</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大川の駅を大川全体の発展にどう繋げていくのかという視点が必要</li> <li>採算性があり、持続的な施設にすべき</li> <li>防災の機能は必須</li> <li>5Gの情報拠点にしたい</li> <li>建物のデザインにはこだわりたく、施設はALL木材というくらい木を使った建物にするなどを検討したい</li> <li>施設デザインには有名デザイナーとコラボが望ましく、ななつ星のデザイナーである水戸岡鋭治さんや、九州芸文館の設計を行った隈研吾さんをお願いしたい</li> <li>非日常（イベント）だけでなく、日常の視点が大切で、常に誰かいるところにした</li> </ul>

■ 検討部会のアウトプット

